



旅立ちの日に 感謝をこめて

PTA 会長 長妻 守

卒業生の皆さん。ご卒業おめでとうございます。

そして保護者の皆様方には、お子様が立派に成長して卒業の日を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。また、3年間PTA活動にご理解・ご協力を頂きまして誠にありがとうございました。校長先生をはじめ教職員、学校関係者の皆様には熱心なご指導を頂きました事、保護者を代表しまして心よりお礼申し上げます。

コロナウィルス感染症の影響で、入学早々から休校や分散登校、部活動の制限、数々のイベントの中止や規模縮小など創意工夫を行いながらも、大変悔しい思いを経験したこととお察しいたします。そのような中でも、創立40周年記念事業は規模縮小ながら無事に行う事ができました。

PTA活動に於いてPTA総会の書面決議や、PTA研修(出張)の人数縮小、PTA研修旅行の中止、列車添乗の中止、蒼夢祭でのうどん販売の中止、そして心残りだったのは克

己踏破会で給水活動は行えましたが、豚汁を食べさせてあげられなかった事が残念でしたが、クラスマッチでは、お弁当と飲料をPTAから配布させて頂きました。

授業形態もIT化が進み、私達の時代とは大きく異なり、ZOOMを使用したオンライン授業や休校中の学習や心のサポートをさらに充実させるため、Google Classroomというツールを利用して文書や画像を担当の先生と生徒、また生徒同士で双方向にやり取りすることができるようになりました。

このようなコロナ禍の中、生徒会を中心に自分達のできる事にひたむきに挑戦して行く生徒の皆さんの姿を間近で見させて頂き、私自身も大変心強く、勇気をもらいました。守谷高校での3年間の学校生活の中で、「生きる力」を養う事ができたと、信じております。

4月から進学や就職などで、次の新しいステージが待っています。守谷高校で培った経験を糧として、夢を持って新しい事に挑戦してください。

夢ある人には計画がある。計画がある人には行動がある。行動がある人には反省がある。反省する人には進歩がある。進歩する人には夢がある。自分の夢に向かってひたすら進んで欲しいと思います。皆さんを信じ、期待しています。



昨日の自分を超えていこう

校長 櫻井 隆之

第38回生のみなさん、卒業おめでとうございます。また、今日までお客様の成長を温かく支えていただ

いてきた保護者の皆様にも、深く敬意と感謝の念をあらわしますとともに、重ねてお祝い申し上げます。

卒業生のみなさんは、高校生活すべてがコロナ禍でした。高校生活を楽しみに入学してくれたと思いますが、思うように活動出来ないことが多く、取り戻したい思いがあると思います。しかしながらそのような状況下でも、工夫し、助け合い、励まし合いながら大きく成長してくれたみなさんを誇りに思います。いつか、この時代を振り返ったとき、この時代に卒業した皆さんは、どんな逆境にも負けない、たくましい世代だったと言われるようになると思います。

さて、私から卒業するみなさんに、こんな言葉を贈りたいと思います。

『20年後に失望するのは、やったことよりも、やらなかったことだ』

これは、トムソーヤの冒険の著者として知られるマーク・トウエインの言葉です。どんなにひどい失敗をしてしまったとしても、尻込みしてやらなかったことの後悔に比べれば何て事はないということです。「乗るべき列車は一度しか来ない」と言ったのはサッカーワールドカップで活躍したリオネル・メッシです。チャンスは何度も来ません。自分のできる限りの努力で準備し、チャンスを見逃さずしっかりとものにしてください。そのためにも、1日1日、昨日の自分を超えられるよう、色々なことにトライしてください。夢にちょっとでも近づくように、失敗を恐れずにチャレンジしていきましょう。根拠のない自信こそが若者の武器です。

保護者の皆様におかれましては、3年間、本校の教育活動にご理解をいただき、誠にありがとうございます。皆様に支えていただいたおかげで、無事に卒業生を送り出すことができます。本校教職員を代表し、深く感謝申し上げます。

お子様のこれからの人生が、幸多きものになることを心からお祈りいたします。



生徒会長挨拶

2年2組 横島 作哉

この度、生徒会会長に任命されました横島作哉です。私の目標は、生徒の皆さんが笑顔で学校生活を送れるようにすることです。そのために、校内の衛生環境や学校行事など、様々なことに積極的に取り組みたいと思います。そして、生徒の皆さんの手本となり、守谷高校のリーダーとして責任を持った行動と生活を心がけていきます。また、昨年の生徒会役員だった先輩方が行えなかったことや願いを今年はチャレンジしていきたいと思

います。これからの1年間、よろしくお願いします。